

ACADEMY プール開放時の安全管理について

事故を未然に防ぐことに 全力を注ぐ！

(1) 安全意識の向上！

(2) 監視の重要性！

(3) 迅速な救助！

1

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

監視 = 常に起こりうる事故に対し
(スーパービジョン) **すばやく異変に気づく**



◆表4-1 スイーピングとスキャンニング

- ・**スイーピング**……見渡す
受けもった監視領域の全体の水面上をなでるように見渡すこと。
- ・**スキャンニング**……くまなく見る
スイーピングを繰り返しながら、細部にわたって水面のみならず、水中の様子までより注意深く見ること。

◆監視救助の30秒ルール
10秒間で利用者の異変に気づき、その後20秒で適切な救助行動を取る

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月）

4

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(1) 安全意識の向上

1. 死に至る危険が伴うプールでの重大事故

- ① 溺水事故：意識消失・窒息→心停止 **いずれも 死に至る可能性**
- ② 飛び込み事故：頸椎損傷・頸髄損傷 **死に至る可能性**
- ③ 吸い込み事故：排水口（環水口）へ吸い込まれる

2. プールで起こりうるその他の事故

- ① 泳者同士の衝突
- ② ウォータースライドなどの滑走時/着水時の傷害
- ③ プールサイドやプール関連施設内での転倒による傷害
- ④ 感電事故

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月）

2

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

注意すべきプール利用者（溺者）の様子

① 身体がほぼ垂直の状態になっている




- ・ ほぼ垂直状態で苦しそうな表情、水面に顔を出し呼吸しようとしている
- ・ 顔が水面ぎりぎり目目を大きく見開き、何かを訴えるような表情
- ・ 手を振る、叫ぶ（声を出す）といった余裕はない

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月）

5

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(1) 安全意識の向上

バディーシステムの導入

水の特性（浮力がある・抵抗がある・空気がない等）の理解




出典：ジュニアライフセービング教育指導指針（日本ライフセービング協会 2013年3月）
平成23年度藤沢市相互提携型協働モデル事業ジュニアライフセービング教室報告書（西浜SLSC 2011年）

3

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

注意すべきプール利用者（溺者）の様子

② ほとんど、またはまったくキップをしていない/同じ場所に留まり、前に進んでいない

- ・ 泳いている最中に発生
- ・ いずれは肺に水が浸水 ⇒ 水没



出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月）

6

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

注意すべきプール利用者（溺者）の様子

③水中でぐったりしている／息継ぎ（呼吸）をせず顔が水中に没したままになっている



- 怪しいと思ったらすぐにアプローチ（声かけ）

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 7

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

監視時の注意事項

- ①ゾーニング
 - ・監視員同士で監視エリアを決める（重複させ、死角を無くす）
- ②視線の動かし方
 - ・水上だけでなく、水中、水底も
- ③高さのあるタワー（監視台）の設置
 - ・広域を見ることができ、視野を広く保てる
- ④プールサイドのパトロール
 - ・定点では判別しにくい変化や、利用者の表情等も確認できる
- ⑤交代とレスト（休憩）
 - ・集中力の低下防止（交代）や疲労の除去（レスト）
- ⑥カバーするためのシフト
 - ・緊急時にも対応できる余裕を持ったシフト編成

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 10

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

注意すべきプール利用者（溺者）の様子

④水中に潜ったまま浮上してこない



- 潜水行為を禁止しているプールは多い⇒発見したら即アプローチ

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 8

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

スキャンングの方法と種類

◆図4-2 アップ＆ダウン・スキャンング

◆図4-3 サイド・トゥ・サイド・スキャンング



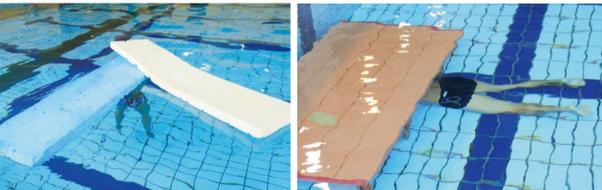
出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 11

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

そのほかの注意が必要な状況

◆図4-1 注意が必要な場所と状況



- 死角となるポイントは要注意!!
→子どもがフロアの下でジタバタしていることも

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 9

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

スキャンングの方法と種類

◆図4-4 サーキュラー・スキャンング

◆図4-5 トライアングル・スキャンング



出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 12

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

ゾーニングの方法と種類

◆ゾーニングとは？

- ・受け持ち区域とその範囲を決める
⇒監視ゾーン
- ・監視員の基本位置を設定すること

◆大切なこと

- ① 死角を作らない
- ② (複数の) 監視員の監視ゾーンの一部を重ねる

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 13

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(3) 迅速な救助

救助の方法（安全に誰もがができること）

溺者の様子と距離から適切な方法を判断し、救助する
救助者自身の安全を確保し、二次災害を起こさないことが重要である

トーク

助けを呼ぶ・励ます・指示を出す

リーチ

手足や棒、ロープなどを差しよける

スロー

浮き具になる物を投げる

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 16

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

ゾーニングの方法と種類

◆図4-7 広範囲型 (1) 一横配置

◆図4-8 広範囲型 (2) 縦配置

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 14

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(3) 迅速な救助

溺者の背中側から両脇の下に救助者の両腕を通してプールサイドをつかみ確保する(サポートポジション)。

プールサイド上の救助者が溺者の両脇をつかみ、溺者を持ち上げる。

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 17

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(2) 監視の重要性！

ゾーニングの方法と種類

◆図4-9 集中型-コーナー配置

◆図4-10 複合型 (広範囲型+集中型)

◆配置の型に加え、以下の事項にも配慮

- 1) 空白を作らない
- 2) 照明・太陽光の位置
- 3) プールの形状

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 15

ACADEMY プール開放時の安全管理について

(3) 迅速な救助

- ・ 溺者の身体を仰向けにして、横から身体の下に腕を入れる。
- ・ 呼吸を合わせて一度救助者の胸の前を抱きかかえるようにし、両腕を前に降ろすようにして溺者をプールサイドに引き上げる

出典：プールライフガード教本（日本ライフセービング協会 2017年9月） 18

